



▲会議参加者に歓迎の意を述べる白根壽晴日本FP協会理事長
▲会議で議長を務めるFPSB理事会会長のスティーブ・ヘルミッチ氏(オーストラリア)



▲会議の様子



▲「カウンスル全体会議」の様子



▲「カウンスル全体会議」で話をするスティーブ・ヘルミッチ氏(中央)。左は次期FPSB理事会会長のサンジャイ・サチデブ氏(インド)

Financial Planning Standards Board Ltd. (FPSB) の2015年秋季カウンスル会議が、去る10月3日(土)から10月8日(木)の日程で、当協会の主催により6年ぶりに東京で開催されました。世界各国・地域のCFP®認定組織の代表者など、総勢約70名の海外関係者が出席し、専門職としてのファイナンシャル・プランニングの普及促進やCFP®資格のブランド向上に向けて活発な議論が行われました。

■FPSBとは

FPSB (Financial Planning Standards Board Ltd. / 本部：米国コロラド州デンバー) は、2004年に発足した非営利組織で、米国のCFPボード(Certified Financial Planner Board of Standards, Inc.)、日本FP協会など世界のCFP®認定組織がメンバーとして加盟しています。FPSBは、国際的なCFP®認定基準を確立し推進するとともに、各国・地域におけるCFP®認定が国際基準に沿って適切に行われていることを監督する役割を担っています。

■FPSBカウンスルとは

2015年10月現在、米国、日本、カナダなど24カ国・地域のCFP®認定組織が、FPSBの事業方針を機関決定するFPSBカウンスルを構成しています。また、イスラエル、トルコの2カ国のFP組織が、アソシエイトメンバーとして数年後のCFP®資格導入に向けて準備を進めています。FPSBカウンスル会議は、各国組織の代表者やFPSB理事、本部職員が定期的に集う国際会議です。

■6年ぶりに東京でカウンスル会議が開催

FPSBの2015年秋季カウンスル会議は、2009年春季会議以来、6年ぶりに東京で開催されました。この6年間で世界のCFP®認定者数も4万人近く増え、FPSBによれば2014年末時点でFPSBメンバー組織が認定するCFP®認定者の総数は157,586人で、CFP®資格の国際的な普及が進んでいることがわかります。また、日本のCFP®認定者数は、2009年には米国、カナダに次ぐ世界第3位でしたが、現在は米国に次いで世界第2位となっています。

ここ数年は、中国をはじめアジア地域におけるCFP®認定者数の増加が目立つほか、米国でもCFP®資格保有者に対する大手金融機関の評価が高まり、認定者数の堅調な伸びが続いています。

世界のCFP®認定者数(2014年末時点)

◎総数：157,586人

国・地域	CFP®認定者数	割合	国・地域	CFP®認定者数	割合
米国	71,296	45.2%	インドネシア	1,019	0.6%
日本	19,776	12.5%	英国	1,010	0.6%
カナダ	16,738	10.6%	シンガポール	908	0.6%
中国	16,653	10.6%	台湾	673	0.4%
オーストラリア	5,450	3.5%	ニュージーランド	333	0.2%
香港	4,784	3.0%	アイルランド	315	0.2%
南アフリカ	4,524	2.9%	オーストリア	311	0.2%
韓国	4,011	2.5%	スイス	293	0.2%
マレーシア	2,484	1.6%	イスラエル	133	0.1%
インド	1,820	1.2%	オランダ	132	0.1%
ブラジル	1,741	1.1%	タイ	129	0.1%
フランス	1,604	1.0%	コロンビア	0	0.0%
ドイツ	1,449	0.9%	トルコ	0	0.0%

■FPSBの長期的な成長プラン

カウンスル全体会議では、各国・地域のCFP®認定の現状を検証した上で、ファイナンシャル・プランニングを専門職として確立し、CFP®認定者に対する社会やマーケットの信頼を一層高めるための長期戦略がテーマとなりました。

「FPSB2025: LASER」は、FPSBや世界のCFP®認定組織が長期的に取り組む基本方針をまとめたプランで、Leadership、Awareness、Standards、Engagement、Recognitionの5つの項目の頭文字をとったものです。

【Leadership (リーダーシップ)】

【ビジョン】FPSBがファイナンシャル・プランニングの世界的な基準を確立する権威ある組織であること。また、CFP®資格が、ファイナンシャル・プランニングの卓越した専門資格であること。

【Awareness (認知・普及)】

【ビジョン】ファイナンシャル・プランニングのプロセスとCFP®資格が、広く社会に認知されていること。

【Standards (国際的な認定基準)】

【ビジョン】FPSBが世界共通の資格認定基準や実務基準を確立し、FPSBメンバー組織がこれらを順守してCFP®認定プログラムを運営していること。

【Engagement (連携)】

【ビジョン】FPSBのミッション達成に向けて、FPSBメンバー組織が互いに連携すること。

【Recognition (専門性の評価)】

【ビジョン】CFP®資格が、ファイナンシャル・プランニングの専門資格として世界的に評価されること。

Leadershipの分野では、FPSBの持続的な成長を可能にするための戦略について報告され、Awarenessの分野では「グローバルな広報戦略を通じてCFP®資格に対する消費者や社会の認知を確立させる」、Standardsの分野では「ファイナンシャル・プランニングの専門家としての実務プロセスを明確化する」、Engagementの分野では「FPSBメンバー組織間や各国の規制当局との連携を強化する」、Recognitionの分野では「ファイナンシャル・プランニングやCFP®資格に対する国際的な評価を高める」というコンセプトに沿って戦略の共有がなされました。

また、FPSBはCFP®資格のブランド強化を図るため、グローバルに展開する広報プラン「BEAM」を作成しました。このプランに基づき、今後の具体的な広報戦略の方針が示されました。「BEAM」とは、Build the brand、Engage our members、Awareness among the public、Marketing for growthの4つの項目の頭文字をとったもので、次のように定義されています。

Build the brand (ブランドの確立)

Engage our members (各国のCFP®認定組織の連携)
Awareness among the public (社会的な認知)
Marketing for growth (成長に向けたマーケティング)

カウンスル全体会議ではこのほか、FPSBメンバー組織

の意見をより良く反映される体制を目指したガバナンス体制の見直しが決議されるとともに、FPSB理事の改選結果などが報告されました。また、ロボ・アドバイザー(※)など新しい形態のアドバイスモデルへの対応や、ISO22222(パーソナル・ファイナンシャル・プランニング)規格の定期的な見直しについて意見交換が行われました。

※ロボ・アドバイザー(自動化された投資サービス)とは、独自のアルゴリズムなどを用いて投資サービスを顧客に提供するオンライン上の金融アドバイス・サービスで、投資家のリスク許容度などに応じたポートフォリオの選択などのサービスが含まれます。

会議期間中は、CFP®認定の歴史や組織の成長段階に応じたフォーラム、FPを取り巻く環境が似た地域ごとのフォーラムなどさまざまな分科会も開催されました。アジア・パシフィック地域の組織が集う「APACフォーラム」では、行政と連携した当協会のパーソナルファイナンス教育推進の取り組みとして、金融コンシェルジュ、修学支援アドバイザー派遣、生活困窮者向けの家計相談、中古住宅市場活性化のための専門家育成などについて報告を行いました。

■国際会議主催を通じた当協会のプレゼンス向上

FPSBカウンスル会議は、各国のCFP®認定組織が持ち回りでホストを務めますが、今回は当協会が会議の運営全般を行いました。約1年間の準備を経て会議運営に臨み、会議の表舞台を支えました。ここ数年の景気回復や2020年のオリンピック・パラリンピック開催決定によって変わりつつある東京での会合には、FPSB本部や各国の組織から高い評価が寄せられ、FP組織の国際的なコミュニティにおける当協会のプレゼンスを高めることもできました。

2016年のFPSBカウンスル会議は、春季会議がカナダ組織の主催によりトロントで、秋季会議がオランダ組織の主催によりアムステルダムで開催される予定です。